

L ineup

対象サービス

TLC 対応サービス一覧 ※2008年5月時点

施設サービス			在宅サービス																
介護療養施設	介護保健施設(短期入所療養介護含む)	介護福祉施設(短期入所生活介護含む)	居宅サービス									地域密着型サービス							
			居宅介護支援	訪問介護(予防含む)	訪問入浴	訪問看護(予防含む)	訪問リハビリテーション(予防含む)	居宅療養管理指導	通所介護(予防含む)	通所リハビリテーション(予防含む)	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護福祉施設サービス	
×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×

R equirement

動作環境

TLC 動作環境 ※2008年5月時点

項目	動作環境	
アプリケーションサーバ	OS	Microsoft Windows2000 Server ServicePack4
	サービス	Microsoft Internet Information Services5.0
データベースサーバ	OS	Microsoft Windows2003 Server ServicePack1
	DB	Microsoft SQLServer2000 ServicePack4
クライアント	OS	Microsoft Windows2000 ServicePack4, WindowsXp ServicePack2
	ブラウザ	Microsoft Internet Explorer6 ServicePack1

- 「介護給付費単位数標準マスタ」は各事業所にてご準備いただくこととなります。
- 記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

開発パートナー

HCS

北陸コンピュータ・サービス株式会社

〒920-0025 石川県金沢市駅西本町 2-7-21
 TEL:(076)233-8102 FAX:(076)233-8185
<http://www.hcs.co.jp/>

※本カタログ記載内容は改良により変更することがありますのであらかじめご了承ください



Onesource Multiuse System

Total Life Care

— “安心の提供” を目指して —



介護保険・総合業務支援ネットワークシステム

[公的介護保険対応版]

Total Life care は、ケアに専念するために…重複する介護現場での事務作業をサポートし、スムーズな情報連携を実現します

「事務作業を省力化し、ケアに専念したい…」 そんなケアスタッフの声から生まれました。

介護現場に課せられた膨大な帳票作成義務と、重複した記録作成作業。
日々、サービスを提供する過程で発生する関係各所との“情報連携”と“情報共有”
安全で質の高い介護サービスを提供するためには必要不可欠なことだが…

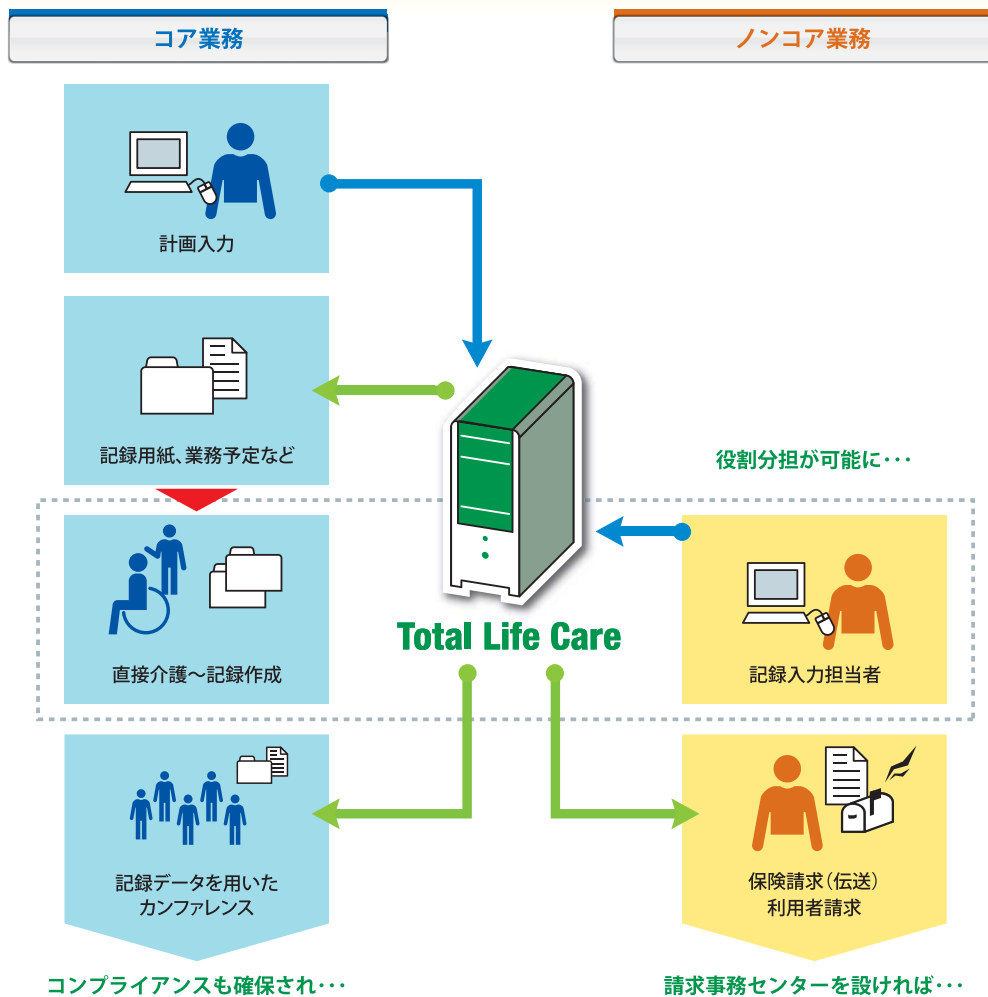
Total Life Care (トータルライフケア = TLC) は 1 つの提案を行います。
それはインターネットを介した“情報連携・情報共有”と“コア業務・ノンコア業務の役割分担”
様々な業務効率の向上によって、直接高齢者と接する「直接介護時間」を創出します。

※コア業務…介護の専門職でなければならない業務

Onesource Multiuse System

役割分担と情報の活用

コア業務・ノンコア業務の分担を可能にし、1 回の入力作業で、複数の作業を省力化する

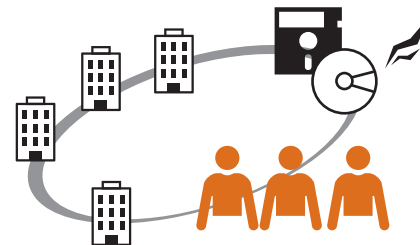


コンプライアンスも確保され…

請求事務センターを設ければ…



ケアスタッフ本来の介護…
“安心の提供”が可能に



介護現場から離れた場所でも、記録入力作業や請求処理作業が行え複数の事業所分をまとめて処理することも (=請求業務集約化) 可能。いっそうの効率化が図れます。
複数事業所分の利用者請求を一通の封筒で請求し、一回のお支払いで入金処理可能となる便利な「総合請求機能」を装着しています。

役割分担と情報活用のメリット

作成が義務化された記録類が多く、重複した記載も散見されました。

多くのケアスタッフは、介護の専門職でなければならない業務以外の事務業務に時間を割かれ、直接介護する時間が削られていました。

TLCでは、ケアスタッフでなくともよい業務を他のスタッフと効率よく分担する事ができ、結果直接介護時間を大幅に増加させることができます。

いったん入力されたデータは、関連する帳票に自動的に反映されるため、カンファレンスなどで使用する帳票を改めて書き写し、準備する必要はありません。

また、一連の作業がすべて TLC を中心に行われるため作業工程管理を行うことができ、作業漏れ防止も期待できます。

日々入力されるデータは、請求データとしてサーバ内で反映。
保険請求データ、利用者請求データも自動的に作成可能です。

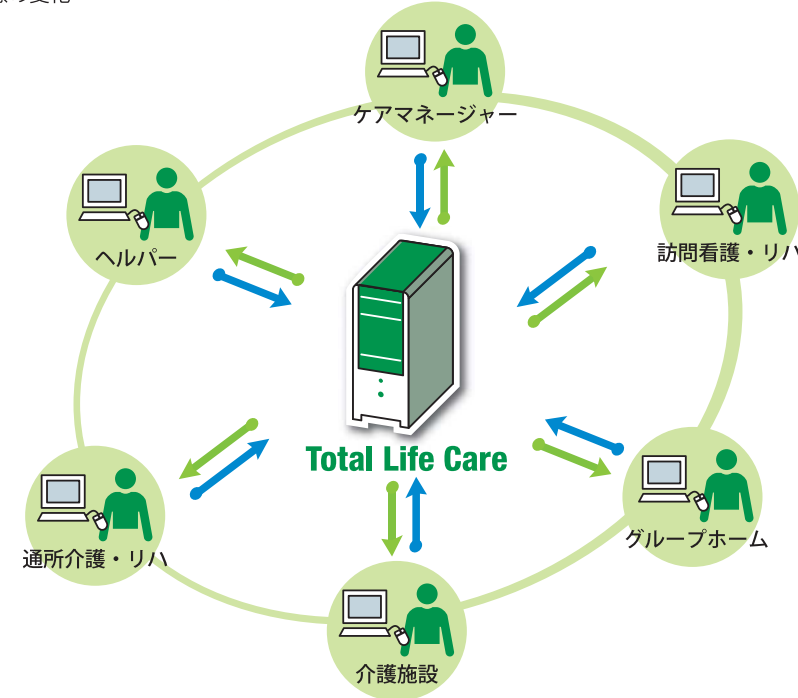
Communication

情報の共有

リアルタイムに繋がる介護保険事業所間の情報共有

- ・ 居宅サービス計画
- ・ 提供票、別表
- ・ サービス利用、変更状況
- ・ 状態の変化

さまざまな情報がサーバ内で自動連携します



情報共有のメリット

質の高いケアの提供には必要不可欠な情報連携。

離れた場所の事業所間で情報連携する場合、紙媒体はとて不便でした。

TLC ではインターネットを介し、繋がる事業所間の情報連携は、サーバ内で自動連携。必要に応じ紙媒体を出力する以外は、システム内で相手事業所の情報を入手することが可能です。

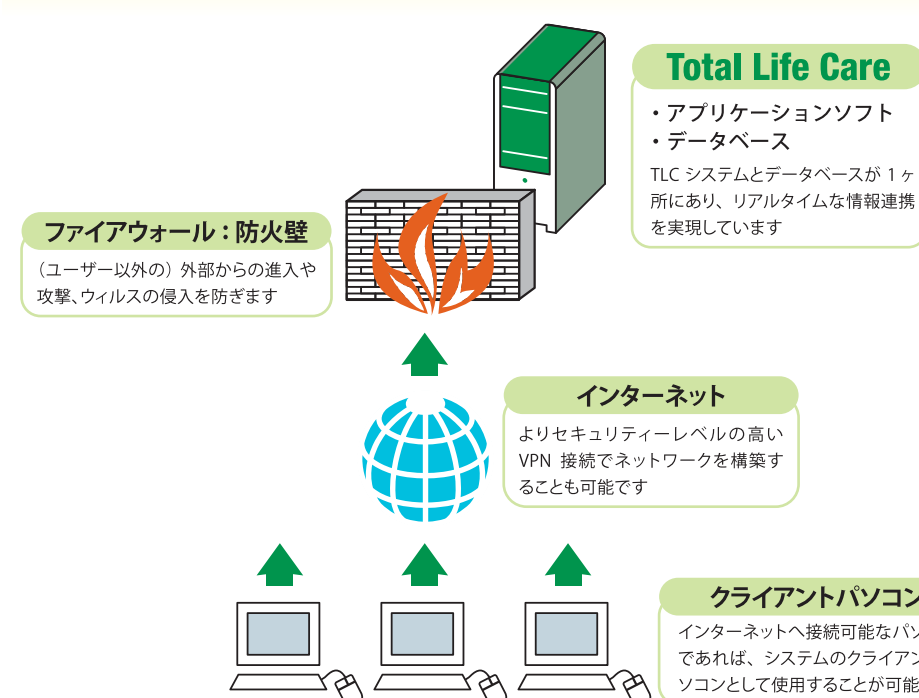
※ 居宅サービス計画や提供票情報の閲覧は、システム上 作成した居宅介護支援事業所の許可が必要です。

必要な情報がリアルタイムに連携・共有され、より質の高いチームケアの実践が可能となります。

Network

システムネットワーク構成

インターネットを経由して介護保険事業所とシステムを結ぶ“ASP 型業務支援ネットワーク”



集中管理のメリット

事業所のパソコンにインストールして使用するシステムではシステムのインストールされていないパソコンから操作することはできませんでした。

また、各パソコンにデータが格納され、バックアップやシステムの更新作業 (制度改正やバージョンアップなど) は、パソコンごとに対処する必要がありました。

TLC ではサーバにシステムをインストールし、各事業所からはインターネットを経由して利用するため、どのパソコンからでも利用することが可能です。

また、バックアップや更新作業はサーバにて一括作業を行いますので、各事業所のパソコン 1 台 1 台作業を行う必要はありません。

いつでも最新のシステムを安全な環境で使用することが可能です。